

ありがとう45年 未来へとつなぐ酒田の宝物

館蔵品展 その3 一人物資料

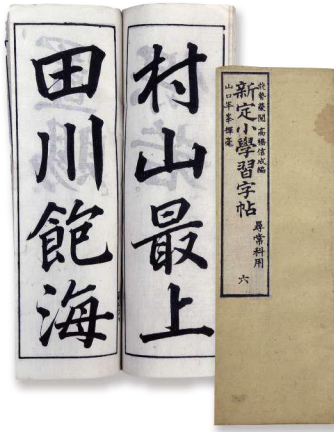
移転前、最後の企画展です。



『夜明けのうた』『希望』などのヒット曲で知られる岸洋子



岸洋子のデビューアルバム『たわむれないで』と直筆の楽譜(夜明けのうた)



酒田高等女学校で習字を教え、大正時代には宮内省で貴重文書の浄書にあたった山口半峯。右は明治時代に半峯が執筆した尋常小学校用の習字の教科書。



天楽人形芝居の座長として各地を回り、昭和10年から酒田を拠点に活動した吉田天楽丸。右は芝居に使用した人形の頭(酒田市指定文化財)。



矢島純吉(海軍中将)、山口半峯(書家)、佐藤公太郎(「みちのく豆本」出版)、
吉田天楽丸(人形遣い)、岸洋子(歌手)、土岐田勝弘(棋士・アマチュア八段)に関する資料と、
池田三郎(新聞「新酒田」発行)、杉山勇治郎(アマチュア写真家)が撮影した
昭和30~40年代の酒田の写真を展示します。

令和5年

8月5日(土)~9月30日(土)

会期中無休

9月1日(金)から一部資料を入れ替えます。

開館時間◆午前9時~午後4時30分

入館料◆一般200円、高校生90円

小中学生50円(市内小中学生は土日無料)

★9月23日(土)・24日(日)・30日(土)は無料

酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8-16

TEL・FAX 0234-24-6544

✉ sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



ありがとう45年 未来へとつなぐ酒田の宝物

館蔵品展 その3-人物資料-

当館における最後の企画展となる本展では、4月から3回に分けて、これまで展示する機会の少なかった貴重な資料を中心に館蔵品を紹介してきました。最終回は「その3-人物資料-」として、酒田出身または酒田で活躍した人物に関連した資料を展示します。

これまでもお知らせしているとおり、酒田市立資料館は、市立光丘文庫とともに郷土の資料を収集、保管、展示していく施設として、令和6年度に酒田市総合文化センターの市立図書館跡に新たに開館するため、令和5年9月30日をもって閉館します。

当館は大火復興の記念として、被災地跡にいち早く建設され、昭和53年(1978)5月18日に開館しました。それ以前は、歴史的な資料を総合的に収集、保管、展示する施設がなく、火災や生活様式の変化などで失われていく危険性もあることから、地元の歴史や文化を伝える資料を後世に伝えていくことを目的に作られた施設です。

開館以来、市民の皆様や研究者の方、小中高生・大学生などの学習や調査の場としても親しまれ、総入館者数は延べ37万人を超え、寄贈、寄託、購入によって現在、約1万3千件、6万点余りの資料を収蔵しております。

当館の収蔵資料は、酒田の歴史・民俗・産業・文化を紐解くための資料として次世代に残していかなければならない、市民にとっての宝物であり、新たに設置される文化資料館(仮称)は、現在の資料館と光丘文庫の機能のほか、近代以降の酒田の歩みを伝える歴史公文書の管理と活用もあわせて担うこととなり、真の意味で総合的に酒田の歴史を未来に伝える施設を目指してまいります。

45年間にわたって愛されてきた資料館の伝統を受け継ぎつつ、これまで以上に多くの皆様に利用される郷土の文化を伝える施設となるよう努めてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



「みちのく豆本の会」を主宰し、酒田弁の昔話の語り部でもあった佐藤公太郎。昭和32年(1957)から平成7年(1995)にかけて、庄内の歴史や文化などをテーマとした豆本130冊を刊行した。



アマチュア棋士として数々の大会で優勝し、土岐田将棋道場を開いて後進の指導に当たった土岐田勝弘。下はアマチュア八段(名譽段位)の認定書。



日清戦争で水雷艇攻撃隊長を、日露戦争では第二駆逐隊司令などを務め、後に海軍中將となった矢島純吉。左は日露戦争での功績に対して授与された功三級金鷄勲章と海軍大禮帽。

資料館調査員による展示解説

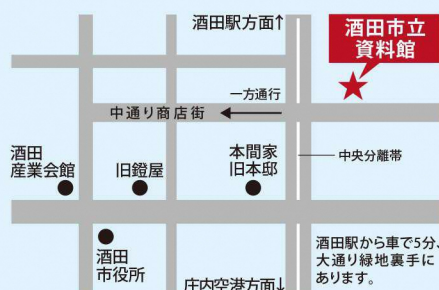
日時/9月2日(土)
①午前10時~ ②午後1時~(1時間程度)
会場/酒田市立資料館1階企画展示室
料金/無料(入館料別途必要)
定員/各20名
※駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問い合わせください。
申込/8月5日から受け付けます。
問 Tel 0234-24-6544



新聞「新酒田」を発行した池田三郎、アマチュア写真家・杉山勇治郎が残したネガフィルムからプリントした懐かしい酒田の写真も展示します。

展示協力/阿部健治郎氏、津盛柳貳郎氏

酒田市立資料館



〈アクセス〉

- ◆JR酒田駅から庄内交通バス(約9分)「大通り商店街」下車徒歩1分
- ◆庄内空港からシャトルバス(約30分)「中町」下車徒歩5分
- ◆日本海東北自動車道「酒田中央IC」より約10分(駐車場あり)

